

〔No.08〕 アクチュエータに関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) I S C V (アイドル・スピード・コントロール・バルブ) はリニア駆動アクチュエータであり、駆動回路で作られたデューティ信号により連続的にバルブ開度を制御している。
- (2) エンジン警告灯、インジケータ・ランプはスイッチ駆動アクチュエータであり、回路の異常検知機能を持っていないものが多い。
- (3) インジェクタはスイッチ駆動アクチュエータであり、駆動信号がOFFされるとインジェクタ・コイルに逆起電力が立ち上がるので、この逆起電力の大きさをECUはインジェクタ・コイルの異常検知をしている。
- (4) 出力駆動アクチュエータであるイグナイタ回路において、エンジンECUが異常検知できる信号は、ECU出力回路とイグナイタ入力回路間の信号に限られ、イグナイタ入力回路、駆動回路及びイグニッション・コイルの信号の異常検知はできない。